



炬火を掲げていざ謳う

No.82



我らの泉鳥取

2024年7月1日(月)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

イズトリ☆スクールウォーズ

数学科教員 中村 直先生とラグビー部

職員室の整理を行っているとき、一冊の本が発見されました。書名は『天衣無縫 中村直先生追悼文集』です。1990(平成2)年12月12日、本校現職の数学科教員、中村直(なかむら・すなお)さんが亡くなり、これを追悼して発行した文集です。大勢の生徒や教職員から追悼文が寄せられています。記録に残すため記事としました。

中村直さんは、福岡県出身。1984(昭和59)年、新採用教員として泉鳥取高校に赴任しました。以来8年間、泉鳥取で活躍しました。大変豪快な性格で、しかも頑固。ただ、生徒の面倒見がこまめで丁寧、数学がわからない生徒がいたら、昼食を忘れて教えたり、放課後に居残りで勉強を教えたりしていました。

また、クラス経営も熱心でありながらおおざっぱに見えるものの、実は「まめ」で、毎週クラス通信を出し、一人一人の生徒に寄り添う優しい先生でした。しかし、掃除をさぼると激怒、次の朝、必ずやり直しをさせます。「きっさーん、(貴様)、勉強はできんでも生きていけるが、掃除が出来なかったら、生きてゆけんぞ」と博多弁で叱っていました。

部活動については、ラグビー部の顧問を引き受けていました。ちょうどテレビドラマで「スクール☆ウォーズ」が放映されていた時期です。京都の工業高校ラグビー部をモデルにしたドラマは、大人気を博し、一時ラグビーブームを起しました。そんな中で、ラグビー部の先頭に立っていたのが中村先生でした。いつもグラウンドを走り、生徒たちを頑張らせていました。ラグビー部自身、バレー部や器械体操部のような強豪校ではなかったものの、熱心に活動していました。生徒は親しみを込めて先生の事を「すなおちゃん」と呼んでいました。

いつも元気で生徒が大好き、お酒も大好きな中村先生が、1990(平成2)6月、突然学校で吐血、同僚たちが無理やり病院に連れて行ったのですが、その時すでにガンが

進行、手術はしたものの手遅れで、その年の12月12日、40半ばで帰らぬ人となりました。泉鳥取高校で最初に現職のまま旅立たれました。



12期生卒業アルバムから 右から2人目が中村先生

